

最近の臓器移植の実施状況等について（報告）

○法が施行された平成 9 年 10 月から平成 28 年 5 月 31 日までの間に脳死下臓器提供事例は 377 例あり、そのうち平成 22 年の改正法施行後に行われた脳死下提供事例は 291 例であった。

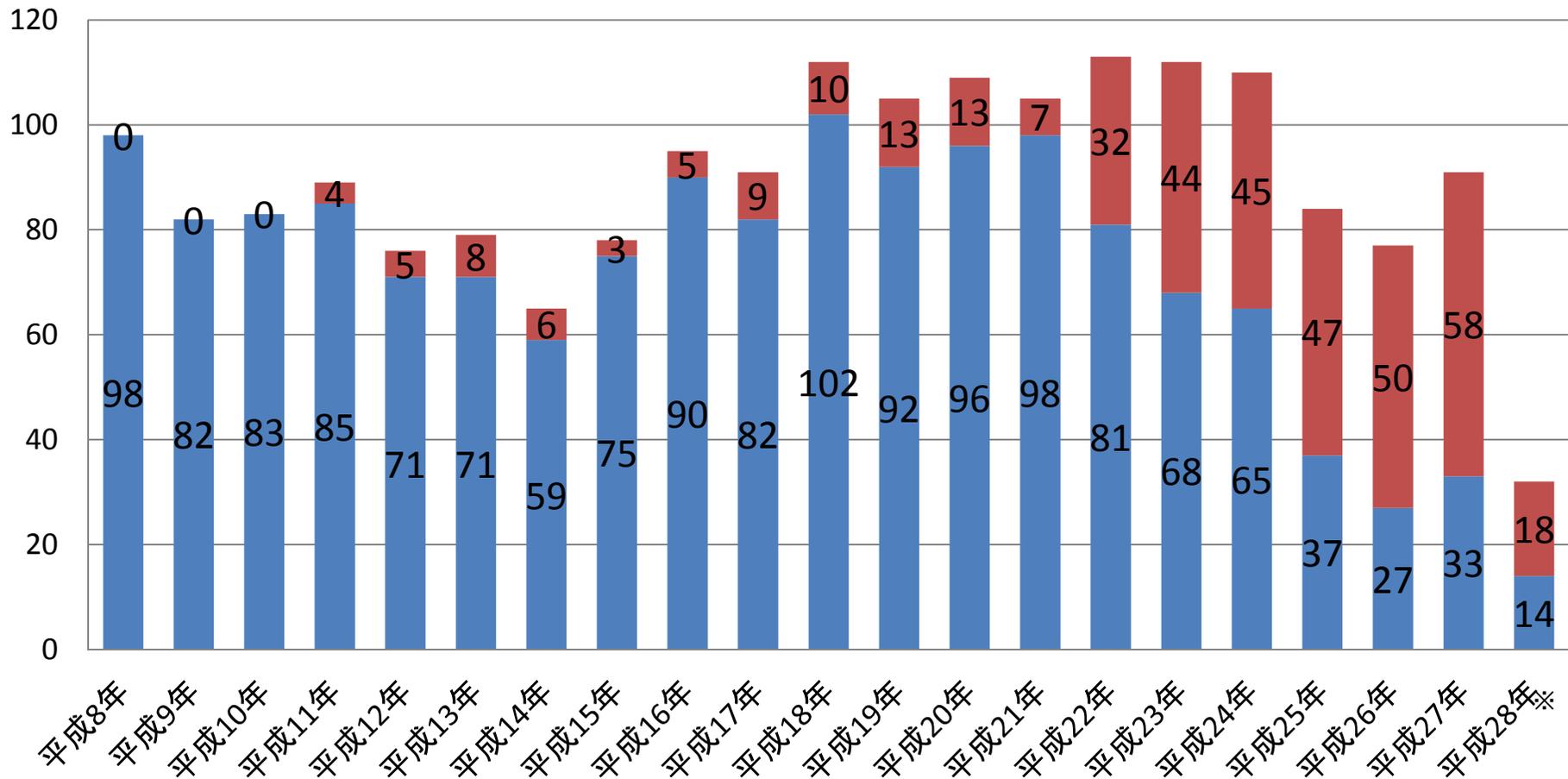
○平成 27 年の臓器提供は、脳死下 58 例、心停止下 33 例の合わせて 91 例が行われており、平成 25、26 年と比較しても、臓器提供数は回復傾向にある。

○心停止下の臓器提供は、平成 22 年の改正法施行後より減少傾向にある。

○小児の臓器提供は、15 歳未満で 12 例（うち 4 例は平成 27 年中）、16 歳以上 18 歳未満で 3 例と、18 歳以上と比較すれば少ない現状である。

臓器提供の件数の推移(年別)

平成9年10月(法施行)～平成28年5月31日までの脳死下臓器提供事例 377例
 平成22年の改正臓器移植法施行後の脳死下臓器提供事例 291例
 うち・本人意思が不明で家族同意のみで臓器提供に至った事例・・・ 215例
 ・15歳未満の臓器提供事例・・・ 12例

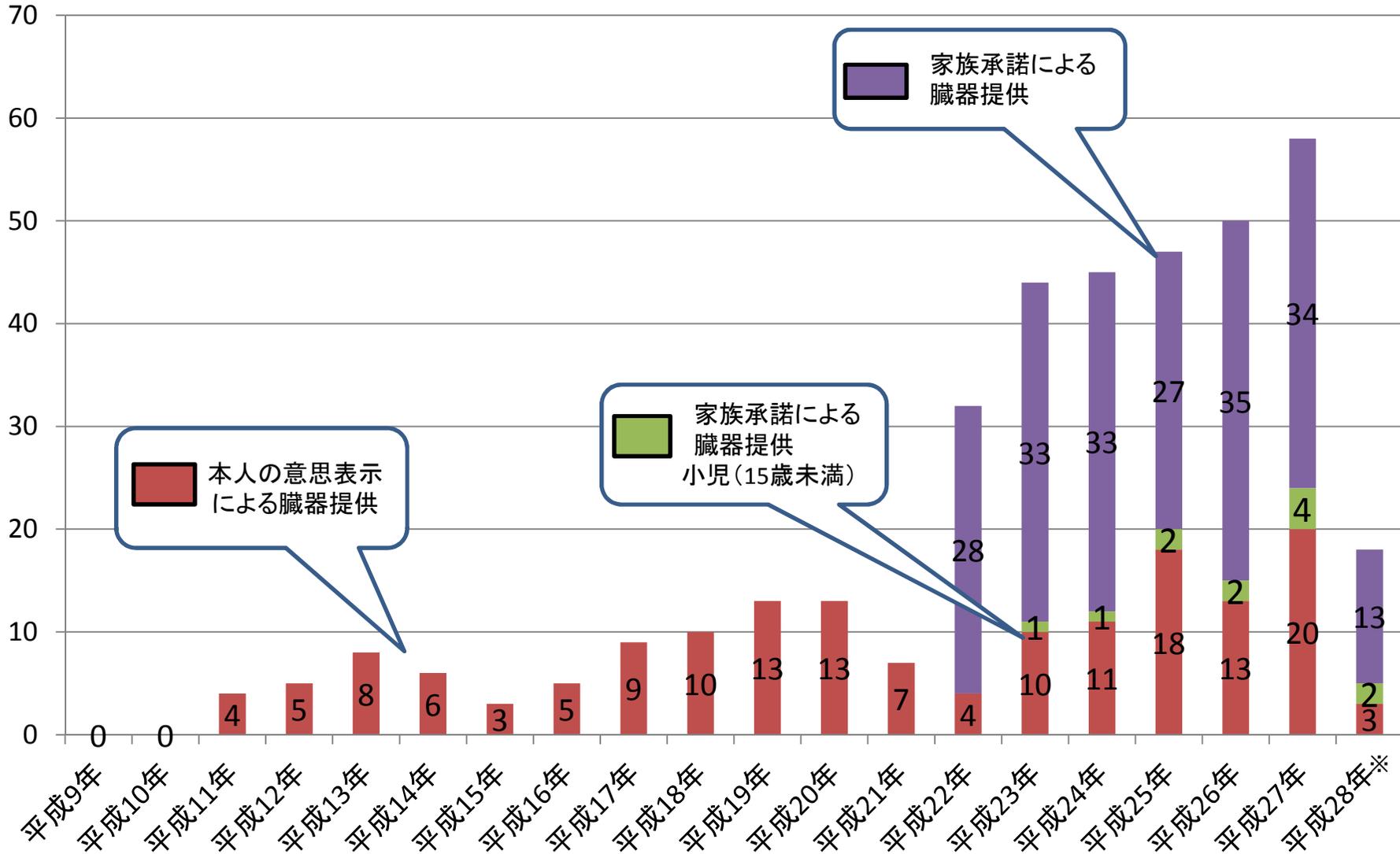


■ 脳死(提供可能臓器) 心臓、肺、肝臓、膵臓、腎臓、小腸、眼球(角膜)
 ■ 心停止(提供可能臓器) 膵臓、腎臓、眼球(角膜)

※平成28年5月31日現在
 JOT資料より作成

脳死下での臓器提供者数の推移(年別)

○ 平成9年10月(法施行)～平成28年5月31日現在 累計 377例
 ○ 改正法施行(平成22年7月)後 291例 (うち家族承諾 215例)



*平成28年5月31日現在

臓器移植の実施状況

		平成23年 (1~12月)	平成24年 (1~12月)	平成25年 (1~12月)	平成26年 (1~12月)	平成27年 (1~12月)	移植希望者数 ※1 ※2
心臓	(単独) (脳死下)	31件	28件	37件	37件	44件	502名(47名)
肺	(単独) (脳死下)	37件	33件	40件	41件	45件	301名(15名)
心肺同時	(脳死下)	0件	0件	1件	0件	0件	6名(2名)
肝臓	(単独) (脳死下)	41件	40件	38件	43件	55件	345名(19名)
肝腎同時	(脳死下)	0件	1件	1件	2件	2件	14名(0名)
小腸	(脳死下)	3件	0件	1件	0件	0件	5名(3名)
肝小腸同時	(脳死下)	0件	0件	0件	0件	0件	0名(0名)
膵臓	(単独)	6件	9件	9件	5件	4件	51名(1名)
	脳死下	6件	9件	9件	5件	4件	
腎臓	(単独)	182件	174件	130件	101件	133件	12,506名 (101名)
	脳死下	57件	58件	63件	59件	71件	
膵腎同時		29件	18件	24件	24件	32件	154名(0名)
	脳死下	29件	18件	24件	24件	31件	
眼球 (角膜)		1,606件	1,518件	1,488件	1,414件	1,410件	1,947名
	脳死下	42件	33件	32件	49件	46件	

※1 移植希望者数は、平成28年5月31日現在。(眼球は平成28年4月30日現在)

※2 ()は、移植希望者数のうち、20歳未満の人数

小児脳死下臓器提供事例

事例番号	臓器提供施設	年齢・性別	原疾患	臓器提供日	提供臓器・移植施設 (20歳未満レシピエント)					
					心臓	肺	肝臓	脾臓	腎臓	小腸
129 (128)	関東甲信越	10歳以上 15歳未満 男児	交通事故による 重傷頭部外傷	2011年 4月13日	大阪大学医学部 附属病院 (10歳代 男性)	東北大学病院 (50歳代 女性)	北海道大学病院 (20歳代 男性)	藤田保健衛生大学病院(脾臓) (30歳代 女性)	東京女子医科大学病 院 (60歳代 男性)	
147 (146)	関東甲信越	15歳以上 18歳未満 男児	頭部外傷	2011年 9月4日	国立循環器病 研究センター	大阪大学(片肺)	京都大・国立成育医療 研究センター(分割)	新潟大学病院(脾臓)	千葉東病院	東北大学病院
178 (177)	富山大学付属病院	6歳未満 男児	低酸素性脳症	2012年 6月15日	大阪大学医学部 附属病院 (10歳未満 女児)		国立成育医療 研究センター (10歳未満 女児)		富山県立中央病院 (60歳代 女性) 2腎同時	
219 (218)	国立病院機構 呉医療センター	15歳以上 18歳未満 男性	脳血管障害	2013年 5月11日	東京大学医学部 附属病院		広島大学	藤田保健衛生 大学病院	広島大学	
230 (229)	長崎大学病院	10歳以上 15歳未満 女児	低酸素脳症	2013年 8月10日	東京大学医学部 附属病院 (10歳代 男性)	東北大学病院 (30歳代 女性)	慶應義塾大学 (30歳代 女性)	名古屋第二赤十字病院(脾臓) (40歳代 女性)	国立病院機構 長崎医療センター (50歳代 男性)	
248 (247)	国立病院機構 長崎医療センター	10歳以上 15歳未満 男児	心肺停止による 低酸素脳症	2013年 12月7日	岡山大学病院 (10歳代 女性)		名古屋大学医学部 附属病院 (40歳代 男性)	大阪大学医学部附属病院(脾臓) (40歳代 男性)	長崎大学病院 (40歳代 男性)	
280 (281)	北海道大学病院	10歳以上 15歳未満 女児	脳血管障害	2014年 7月25日	大阪大学医学部 附属病院 (10歳代 男性)	承諾なし	承諾なし	承諾なし	承諾なし	承諾なし
296 (297)	順天堂大学附属 順天堂医院	6歳未満 女児	低酸素脳症	2014年 11月24日	大阪大学医学部 附属病院 (10歳未満 男児)	京都大学医学部 附属病院 (10歳未満 男児)	京都大学医学部 附属病院 (10歳代 女性)		東京女子医科 大学病院 (40歳代 女性)	東京医科大 八王子医療センター (60歳代 女性)
307	大阪大学医学部 附属病院	6歳未満 女児	心原性脳梗塞	2015年 1月14日	承諾なし	岡山大学病院 (10歳未満 女児)	岡山大学病院 (50歳代 女性)		大阪医科大学 付属病院 (40歳代 女性)	兵庫医科大学病院 (60歳代 女性)
345	千葉県内	6歳未満 男児	急性脳症	2015年 10月13日	東京大学医学部 附属病院 (10歳未満 男児)		国立成育医療 研究センター (10歳未満 女児)		千葉東病院 (30歳代 女性) 2腎同時	
353	都城市郡医師会病院	10歳以上 15歳未満 男児	低酸素脳症	2015年 11月30日	東京大学医学部 附属病院 (10歳代 男性)	岡山大学病院 (10歳代 女性)	京都大学医学部 附属病院 (10歳代 女性)	大阪大学(脾臓) (40歳代 女性)	宮崎県立宮崎病院 (60歳代 女性)	
357	金沢医科大学病院	6歳以上 10歳未満 男児	低酸素性脳症	2015年 12月18日		東北大学病院 (10歳代 男児)	国立成育医療 研究センター (10歳未満 女児)	藤田保健衛生大学病院(脾臓) (60歳代 男性)	岡崎市民病院 (50歳代 女性)	
362	伊勢赤十字病院	15歳以上 18歳未満 男性	くも膜下出血	2016年 1月9日		大阪大学医学部 附属病院	九州大学	東京女子医科大学病院(脾臓)	名古屋第二 赤十字病院	
366	東海地方の病院	6歳未満 女児	インフルエンザ脳症	2016年 2月25日		岡山大学病院 (10歳未満 男児)	国立成育医療 研究センター (10歳未満 女児)		静岡県立総合病院 (40歳代 男性) 2腎同時	
374	神奈川県内の病院	6歳未満 女児	頭部外傷	2016年 4月23日	国立循環器病 研究センター (10歳未満 女児)	岡山大学病院 (10歳未満 女児)	慶應義塾大学 (40歳代 女性)	藤田保健衛生 大学病院 (30歳代 男性)	虎ノ門病院分院 (40歳代 女性)	北里大学病院 (50歳代 男性)



3. 児童(18歳未満)からの脳死下臓器提供事例

(2010年7月17日～2015年3月31日 N=97)

3-6 情報の結果

臓器提供に至ったのは14.4%でした。提供に至らなかった理由としては、「施設の体制整備がまだできていない」17.5%、「家族が提供を望まず」16.5%、「虐待の疑いが否定できず」10.3%でした。

全情報	97	
臓器提供に至る	14	14.4%
脳死下	9	9.3%
心停止下	5	5.2%
臓器提供に至らず	83	85.6%
医学的適応外	4	4.1%
知的障害者	6	6.2%
虐待の疑いが否定できず	10	10.3%
司法解剖	1	1.0%
本人に拒否の意思表示あり	2	2.1%
家族が提供を望まず	16	16.5%
家族から返答なし	9	9.3%
献体を希望	1	1.0%
組織提供を希望	1	1.0%
急変	6	6.2%
施設の体制整備がまだ	17	17.5%
心停止後の連絡	3	3.1%
その後連絡なし	7	7.2%



3. 児童（18歳未満）からの脳死下臓器提供事例

（2010年7月17日～2015年3月31日 N=97）

3-6 情報の結果（経緯別）

選択肢提示	33
臓器提供に至る	5
脳死下	2
心停止下	3
臓器提供に至らず	28
医学的適応外	1
知的障害者	1
虐待の疑いが否定できず	2
司法解剖	0
本人に拒否の意思表示あり	2
家族が提供を望まず	8
家族から返答なし	7
献体を希望	0
組織提供を希望	0
急変	2
施設の体制整備がまだ	5
心停止後の連絡	0
その後連絡なし	0

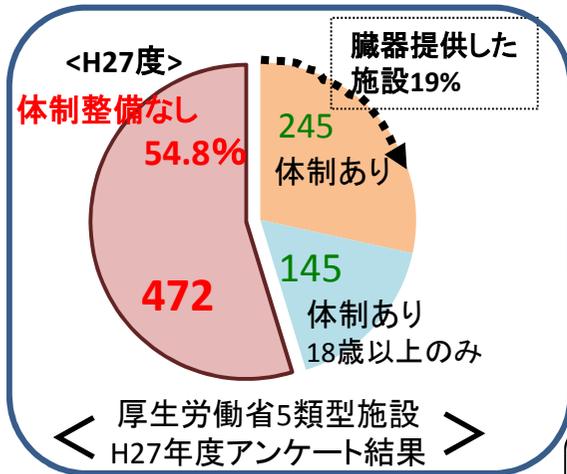
家族からの申し出	64
臓器提供に至る	9
脳死下	7
心停止下	2
臓器提供に至らず	55
医学的適応外	3
知的障害者	5
虐待の疑いが否定できず	8
司法解剖	1
本人に拒否の意思表示あり	0
家族が提供を望まず	8
家族から返答なし	2
献体を希望	1
組織提供を希望	1
急変	4
施設の体制整備がまだ	12
心停止後の連絡	3
その後連絡なし	7



臓器提供を増やすための施策・研究

(ハード面)

脳死判定が可能な施設、臓器提供が可能な施設を増やすため日本臓器移植ネットワークを通じ、体制整備に対する補助を行っている



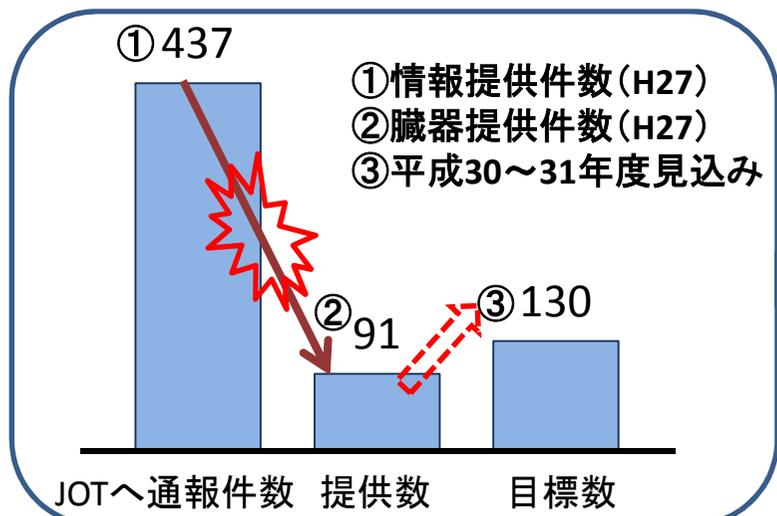
補助事業と内容

- ・都道府県連絡調整体制支援事業
都道府県Coが中心となって地域医療機関の体制支援、普及啓発活動
- ・院内体制整備事業
脳死判定のための院内体制の整備
- ・選択肢提示支援事業
脳死判定での選択肢方法の実態把握等
- ・5類型施設技術研修会

* 体制整備
脳死判定・臓器提供
が可能な施設体制

(ソフト面)

厚労科学研究費(研究班で、情報提供件数から臓器提供件数が低下している原因の精査等を行っている)



政策研究として

- ・ソーシャルマーケティング手法を用いた心停止下臓器提供や小児の臓器提供を含む臓器提供の選択肢提示を行う際の理想的な対応方法の確立に関する検討
- ・脳死患者の家族に選択肢提示を行う際の対応のあり方に関する研究